

「性的マイノリティに関する市民アンケート」の結果をお知らせします

問 人権推進課（内線2322）

本市では、すべての人々がお互いの人権を尊重し、明るい社会の実現を目指して、さまざまな人権課題に取り組んでいます。

性的マイノリティの人権に対する関心が高まる中、自治体では性的マイノリティの方々の生きづらさを解消するための方策の1つとして、「パートナーシップ制度」の導入が進んでいます。

本市では、市民の皆さんの性的マイノリティに関する正しい理解や知識について把握し、今後の施策の参考とするため、令和2年11月に「性的マイノリティに関する市民アンケート」を実施しました。

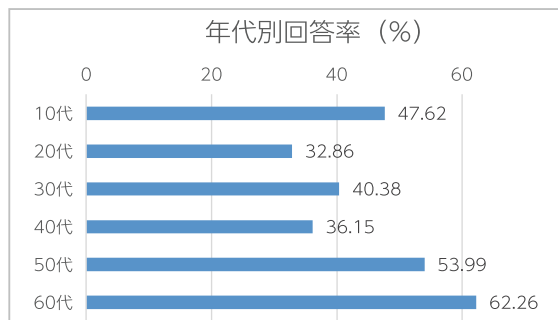
市民アンケートの結果は次のとおりです。詳細は市ホームページでもご覧いただけます。



「性的マイノリティに関する市民アンケート」結果

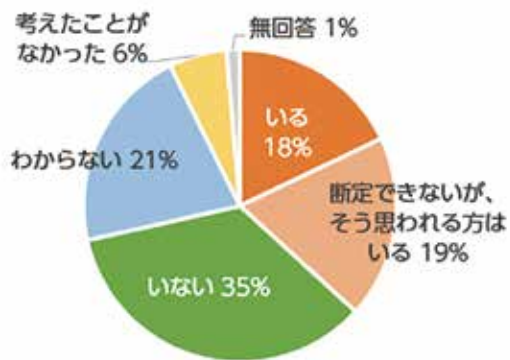
実施概要

対象	住民基本台帳（令和2年10月1日現在）に記載された18歳以上65歳未満の方（無作為抽出）
標本数	1,000人（男女各500人）
有効回答	435通（回答率43.5%） 男性43%、女性55%、その他1%、無回答1%



アンケート結果抜粋

■今まであなたのまわりに、性的マイノリティの方はいましたか。（問7-2）



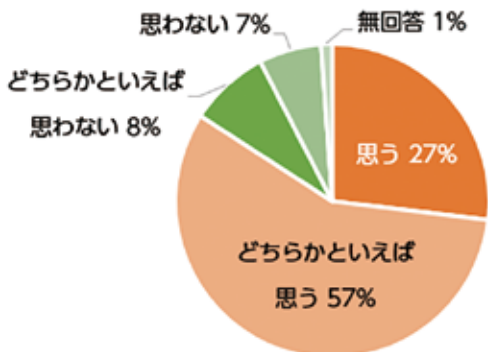
■あなたは、性的マイノリティの方から(又はご自身が)カミングアウトを受けた(した)ことはありますか。(問10)



カミングアウト…自ら性的マイノリティであることを他者に告白することをいいます。

※民間企業の調査によると、日本人のLGBT層の割合は8.9%。

■あなたは、性的マイノリティの方にとって今の社会は生きづらいと思いますか。（問12）



■本市がパートナーシップ制度を導入することについて、どう思いますか。（問16-2）

